

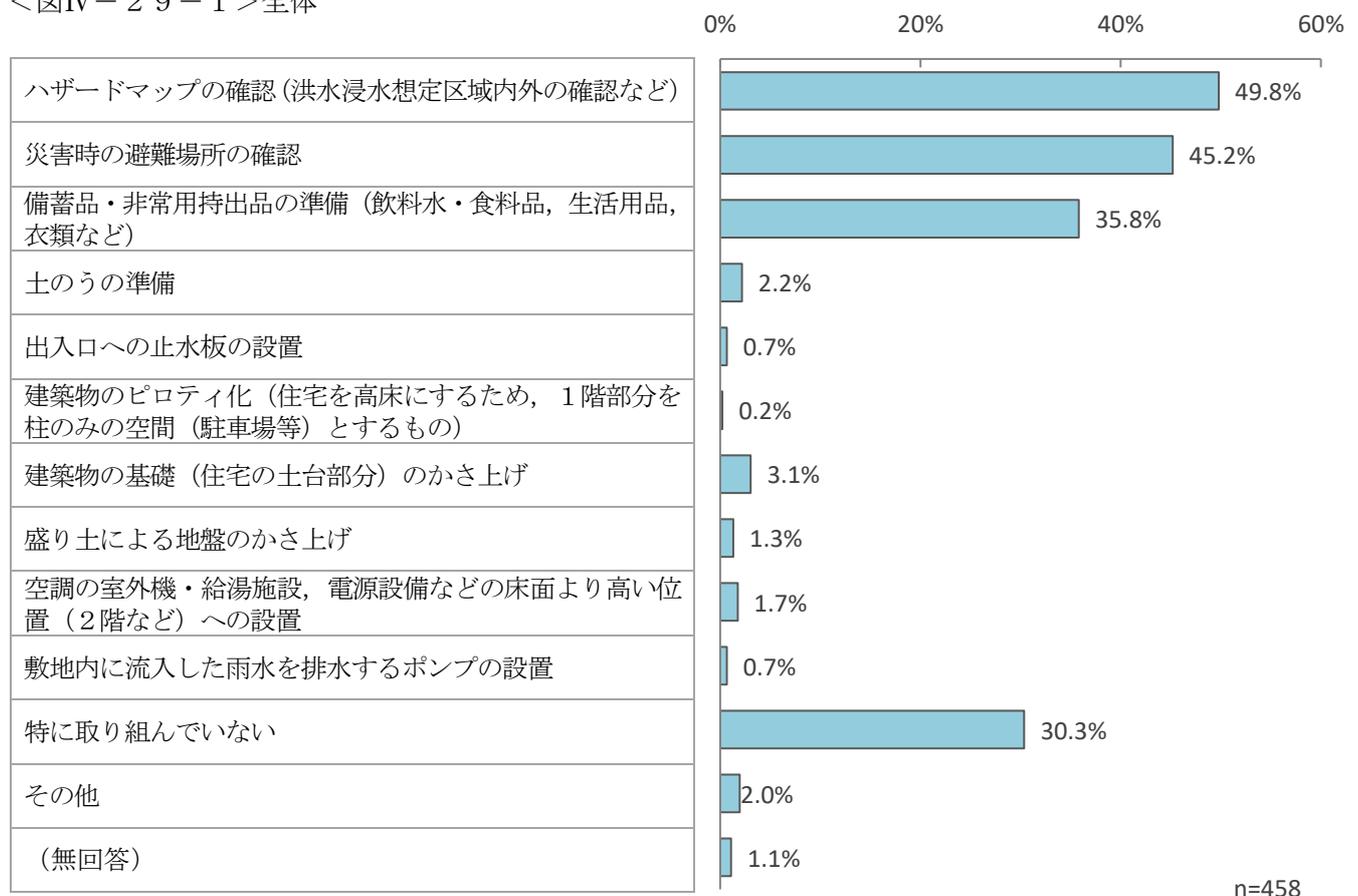
29. 水災害（洪水など）への備えについて

(1) 水災害への備えとして取り組んでいること

◇ 「ハザードマップの確認（洪水浸水想定区域内外の確認など）」が約5割

問64 水災害への備えとして取り組んでいることはありますか。	(○はいくつでも)	n=458
1 ハザードマップの確認（洪水浸水想定区域内外の確認など）	49.8%	
2 災害時の避難場所の確認	45.2%	
3 備蓄品・非常用持出品の準備（飲料水・食料品，生活用品，衣類など）	35.8%	
4 土のうの準備	2.2%	
5 出入口への止水板の設置	0.7%	
6 建築物のピロティ化（住宅を高床にするため，1階部分を柱のみの空間（駐車場等）とするもの）	0.2%	
7 建築物の基礎（住宅の土台部分）のかさ上げ	3.1%	
8 盛り土による地盤のかさ上げ	1.3%	
9 空調の室外機・給湯施設，電源設備などの床面より高い位置（2階など）への設置	1.7%	
10 敷地内に流入した雨水を排水するポンプの設置	0.7%	
11 特に取り組んでいない	30.3%	
12 その他	2.0%	
(無回答)	1.1%	

<図IV-29-1>全体



水災害への備えとして取り組んでいることについては、「ハザードマップの確認（洪水浸水想定区域内外の確認など）」が49.8%で最も高く、次いで「災害時の避難場所の確認」が45.2%、「備蓄品・非常用持出品の準備（飲料水・食料品，生活用品，衣類など）」が35.8%と続いた。（図IV-29-1）